

広島大学

令和2年度一般入試(前期日程)・
私費外国人留学生入試2月実施

解答例

科目名：

国語総合(近代以降の文章)・現代文B

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

第二問 【解答例】

問一 a 過剰 b 解析 c 尚早 d 妨 e 不祥事

問二 「質が低い生」が実際にあるのではなく、社会がそう呼んでいるだけだということを示す意図。

問三 どちらも、「よりよい」生を希求するベクトルと、「悪い」生を排除するベクトルが相互補完的な一体性を持って進んでいるという点。

問四 1 美しい 良いもの（「良い」も可）

2 先に行われたアンケート調査で、「尊厳死」という言葉の良いイメージによって圧倒的多数でこの語が選ばれた。そして、この言葉のイメージが法案の是非を問う住民投票にも影響した。

問五 医療やケアが十分であれば「尊厳ある生」を守り支えることができるかもしれないのに、尊厳を守るという名目が優先されて人を死に追いやってしまうこと。

問六 人工呼吸器は人が自分らしく生きるためのツールになりうるものが伝えられずに、装着するかどうかを迫られた場合、患者は、それを不自然に生を延長する悪い意味での延命治療だとみなして選択しなくなってしまうということ。

問七 「尊厳死」という言葉は「良いもの」、「延命治療」という言葉は「悪いもの」という含みを持つため、治療で「尊厳のある生」が本当に保てないのかをきちんと問わずに死が選ばれやすくなるように作用している。（97字）

第二問 【解答例】

問一 六月十九日に伊勢神宮へ岸部と二人で参拝した記憶

問二 ア c イ b ウ a

問三 香田は岸部が結婚に同意しないことに納得できずにいたが、しがらみを断ち切って、新しい家庭も築かず、肉親を絶つて自分として生きていくことを岸部が選んだと考えたから。

問四 1 A 岸部 B 私

2 Aの「いいなあ」は、岸部が自分ではけっして持つことのない家族を持つ鴨の仲睦まじい姿をうらやんだ言葉だが、Bの「いいなあ」はそうとは知らずに、岸部の言葉が五十鈴川の鴨の姿を微笑ましく捉えたものだと感じ、これに同意したことを示す言葉である。

問五 本当は家族を持ちたかったという「岸部」の思いを具体的に「香田」に伝えることになってしまい、あまりにも酷だと考えたから。(59字)

問六 聞き終えた香田の話と自らの岸部との思い出を重ねることで岸部と香田のような人々が数多くいることを考え、そのあり得たかもしれない人生を破壊してしまったもの(原爆)へのやり場のない怒りと憤りを押さえることができなかつたら。

第三問 【解答例】

問一 数日間のタイへの旅行中の体験が、現実に体験した出来事ではないように思えるということ。

問二 前に述べたことを理由として帰結を述べるのではなく、既に出ているのに理解されていない結論を繰り返して述べている。

問三 非日常の世界に居ると思えばこそ現実として受け入れられるものの、夢か現実か確かめなくなること。(四十六字)

問四 1 ホテルで現実か夢か区別がつかないような感覚に浸っていたということ。

2 静寂で幻想的な世界に浸っていたのに、いきなり騒々しい現実の世界に引き戻されたので、圧倒されてひるんでいる。

問五 客観的な出来事としては奇妙な体験をしたわけではないが、主観的には現実を非現実のように感じ奇妙に思った。